

## 会 議 録

会議の名称	第1回豊中市環境審議会(第12期)		
開催日時	平成30年(2018年)6月26日(火曜)10:00-11:10		
開催場所	豊中市立 eMIRAIE 環境交流センター	公開の可否	○可・不可・一部不可
事務局	環境部環境政策課	傍聴者数	0人
公開しなかった理由	—		
出席者	委員	上甫木委員、大久保委員、下田委員、田中晃代委員、山西委員、米田委員、上村委員、藪本委員、田中伸生委員、熊本委員、廣田委員	
	事務局	長内市長、河本環境部長、井藤環境部次長兼環境政策課長・安好主幹・松本補佐・藤岡副主幹兼係長・今川主査・宇佐美主査・池田職員・高橋職員、減量計画課 豊田係長、中村公園みどり推進課課長・奥田係長	
	その他	(株) 総合環境計画	
議題	1. 会長・職務代理者の選任について 2. 部会の設置について 3. 第12期環境審議会の取組みについて 4. 協働の取組みに関する意見交換会について 5. その他		
資料	資料1：豊中市環境基本条例、豊中市環境審議会規則 資料2：第12期豊中市環境審議会スケジュール(案) 資料3：「協働の取組みに関する意見交換会」について 参考資料 第12期 環境審議会名簿		
審議等の概要 (主な発言要旨)	別紙のとおり		

## ○開会

- ・資料の確認
- ・審議会組織について説明
- ・委員紹介、職員紹介
- ・会議成立の報告
- ・市長挨拶

## 【議事内容】

### 1. 会長・職務代理者の選任について

#### ○議長

それでは、早速議事に入ります。

まず、案件1でございますが、第12期の当審議会の会長を選任いただきたいと存じます。豊中市環境審議会規則第4条におきまして、当審議会に会長をおき、会長は委員の互選によって定めることとなっております。会長の選任につきまして、お諮りいたします。いかがでしょうか。

#### ○委員

上甫木委員に引き続きお願いしてはいかがでしょうか。

#### ○議長

ただ今、上甫木委員にお願いしては、とのご発言がございましたが、委員のみなさまいかがでしょうか。

#### ○会場

異議なし。

#### ○議長

それでは第11期に引き続きまして、上甫木委員にお願いしたいと思いますが、上甫木委員よろしいでしょうか。よろしくお祈いします。それでは早速、議長の交代をお願いします。

#### ○会長

ただ今選任された上甫木です。皆さんの協力を得て、職務をしっかりと果たしていきたいと思しますので、どうぞよろしくお祈いします。

今回、第12期ということで、私も半分弱関わっています。豊中の環境基本計画は、他の都市と比べて、特にPDCAに関しては非常に先進的な取組みをしていると認識しています。前年度、さらに質的な評価をやっていこうということで、これもまたこれまでにない取組みで、他の都市からいろいろ注目されています。今年も、皆さんに協力していただいて進めていきたいと思っています。

ただ、市民の意識は非常に高いですが、そこがなかなか広がっていないのも事実だと思しますので、今年はそういうことも含めて取り組んでいけたらいいと思っています。そのあたりは特に公募市民委員の方々にもご協力をお願いしたいと思っています。

○事務局

ありがとうございます。それでは、会長に議事進行をお願いします。

○会長

それでは、議事を進めさせていただきます。

なお、環境審議会規則第4条第3項の規定により、会長が「会長の職務代理」を指名することになっておりますので、第11期に引き続きまして、下田委員にお願いしたいと思います。よろしいでしょうか。

○会場

異議なし。

○会長

それでは下田委員にお願いしたいと思います。下田委員よろしいでしょうか。

○委員

了解しました。

## 2. 部会の設置について

○会長

続いて、案件2「部会の設置について」に移りたいと思います。

環境審議会規則第7条第1項で、会長が必要と認めるときは、当審議会に部会を置くことができることと規定されています。前期に引き続き、豊中市環境基本計画の進行管理のための審議を行う「環境基本計画推進部会」を設置したいと思います。

よろしいでしょうか。

○会場

異議なし。

○会長

ありがとうございます。そして、環境審議会規則第7条第2項の規定により、部会は会長が指名する委員及び専門委員で組織することになっておりますので、当審議会の学識経験者のみなさまに務めていただきたいと思います。よろしいでしょうか。

○会場

異議なし。

○会長

ありがとうございます。また、環境審議会規則第7条第3項の規定により、部会に部会長を置き、部会に属する委員から会長が指名することになっております。今期は協働とパートナーシップの質の評価が特に課題となっているため、「協働の専門家」である、田中晃代委員にお願いしたいと思います。よろしいでしょうか。

○会場

異議なし。

**○会長**

それでは田中晃代委員にお願いしたいと思いますが、田中晃代委員よろしいでしょうか。

**○委員**

よろしくをお願いします。

**○会長**

ありがとうございます。それでは、部会長は田中晃代委員をお願いします。

**3. 第12期環境審議会の取組みについて**

**○会長**

それでは、案件3「第12期環境審議会の取組みについて」事務局から説明をお願いします。

**○事務局**

「資料2 第12期環境審議会スケジュール（案）」について説明

**○会長**

今期のスケジュールについて説明してもらいました。ご意見や質問はありませんか。PDCAの進め方が変わるということで、今期の2年間は前半と後半で内容が少し異なります。特に、今年から試行もするので、建設的な議論を積み重ねていきたいと思います。スケジュールについて意見はありませんか。

**○委員**

確認ですが、昨年度の最後の審議会で、これと同じスケジュールを出したという説明がありました。そのときに出た意見を反映するかしないかについては、本年度に議論するという理解でいいですか。

**○事務局**

前期の環境審議会の最後で、次年度に議論をしていくということだったので、そのように予定しています。

**○会長**

試行の中でいろいろな議論が出てくると思うので、次の年に向けて議論を重ねていきたいと思います。他はどうですか。いいですか。スケジュールについては以上です。

**4. 協働の取組みに関する意見交換会について**

**○会長**

続きまして、案件4の「協働の取組みに関する意見交換会」について、事務局から説明をお願いします。

**○事務局**

資料3「協働の取組みに関する意見交換会」について説明

## ○会長

ありがとうございます。今、意見交換会について説明がありました。実質的には基本計画推進部会、次の環境審議会ですということですが、今の時点で少し検討する事柄があれば意見を述べてください。質問でも結構です。誰からでもいいのでお願いします。

## ○委員

この意見交換会の、もう少し詳しい目的を教えてください。取組み状況の課題と出ていますが、それは事業における課題なのか、協働を進めていく上での協働における課題なのか、そのあたりをどのように掘り下げていくのか教えてください。

また、この対象となっているのは、環境基本計画に関わる活動にすでに取り組んでいる団体ですか。それとも、これから多様な主体とパートナーシップに取り組んでいくということであれば、今後取り組んでほしいということであったり、もっと環境をよくするためにつながってほしいという、今後に向けてつながりたいと思っている団体が対象なのか、そのあたりの対象者を含めて、分かれば、もう少し詳細なことを教えてほしいと思います。

## ○事務局

第2次環境基本計画の中でも「よりよい環境をめざして多様な主体のパートナーシップで取り組む」という同じ目標を掲げていましたが、ここの評価が、主体ごとの取組み数になり、つながりの評価ができていなかったところがありました。そこで、前期の審議会の中で、第3次環境基本計画では環境目標の評価として、パートナーシップ自体や協働自体の評価をしていってはどうかということになりました。

ただ、評価だけだと団体にはあまりメリットがありません。ですから、意見交換会には、例えば、同様の取組みをしていながらつながりがない団体や、他市で活動している団体にも参加してもらい、意見交換をしてもらうことで、今後の課題が見えてくるということや、パートナーシップとまでは言いませんが、一緒にやっていける団体と知り合う機会になればと考えています。

取り上げるテーマ等については、昨年度の審議会の中で、環境分野の協働の取組みについて、リストアップして出していますが、環境部内で把握しているものだけで、全庁的に全て確認できているわけではありません。市民団体同士の協働や、事業者と市民団体の協働等、市が関わっていない取組みは、市のほうで把握できていない部分があります。そのような取組みについても、機会があれば発表してほしいと思っています。

本年度は試行ですので、市で内容を把握しているものについて、協働の取組みが現在どこまで進んでいるか、どのような課題が出そうかといったことを、市で事前にヒアリング等で確認します。また、さらに発展していくために、意見交換会では課題をクリアするためにできることは何かなど、参加者から提案していただきたいと考えています。以上です。

## ○委員

今まで、パートナーシップやつながりについて話をしてきましたが、環境問題というと非常に専門的な内容が多く、それを知らないという状況で、それ故にすそ野

が広がっていきません。難しいので勉強しないといけませんが、それで敬遠する人も多いです。

それぞれが楽しみながら活動し、今までにたくさんの実績をつくってきた団体、あるいはこれからやろうとする団体があり、あるいは個人でやってきた人もいますので、その情報交流の場をどうデザインしていくかだと思います。豊中には、すでに市民フォーラム等で活動している団体がたくさんあるので、その人たちに、知識やノウハウも含めて、場のデザインの仕方を教えてもらいながら、意見交換もしたいと思っています。以上です。

### ○委員

いくつかあります。一つは、先ほど、進め方のところで、3時間を超えると長いという説明でしたが、各団体が20分程度で発表すると考えると3時間はかかると思うので、それぐらいは予定してもいいと思います。

二つ目は、準備が肝だということです。基本的には協働の取組みがどう進んでいるかということですが、今回のポイントはすそ野を広げることなので、そういう観点からすると、協働したら効果がありそうなことでなければいけません。ですから、取り組んでいくべきテーマを考えて、それに関するステークホルダー分析を事前にやっていくことが大事だと思います。

例えば、環境についての協働という観点から、豊中市のNPOの交流センターから人を呼ぶとか、行政からは福祉の人を呼ぶとか、テーマによりますし、実際にどれぐらい来てくれるか分かりませんが、そういう関係部局を積極的にきちんとインバイトしていくことが重要です。先ほども重要な話がありましたが、他都市で似たような先進的な取組みを行っている団体など、単に公募して誰でも参加できるということではなく、そういうところにきちんと声を掛けることが重要です。

発表の視点は、1団体20分だと話してもらっただけでも時間がたってしまうので、共通シートを作って、見たら分かるようにしておき、今年のテーマについて話してもらいたいと思います。活動している団体は必ずしも協働のためにやっているのではないので、あらかじめ伝えておく環境基本計画に挙げた協働についての評価の視点を意識しながら、こういう人たちと関わったらもっと進むとか、何がネックになって関わってもらえないとかということを中心に話してもらえると良いと思います。

意見交換のところでは、それぞれに関わりのあるようなところから、見習いたい取組み、課題へのアイデアについて話し合えばすそ野も広がります。あるいは、すでに先進的にやっているところのノウハウを共有できれば、かなり専門的な意見交換会になると思います。もちろん、来る人は幅広くていいと思います。そういう形で、次の年にまた振り返り、その後、どう進んだかということを確認できるような形でやっていくのが重要だと思います。

### ○会長

ありがとうございます。進め方をどうするかということで、例えば、テーマや、どういう団体に来てもらうかということ自体を、今、事務局はどう考えていますか。先ほどの説明の

中で、環境部局だけではなかなかつかみ切れない部分があると言っていました。活動をしている市民や、他部局の人等、そのあたりのことを幅広く検討しなければいけないと思います。そのあたりについても話してください。

#### ○事務局

テーマや、どういう団体か、また、どのような参加者があるかといったことは、今年度の試行に向けて、市のほうで少しリサーチ中なので、次の基本計画推進部会を出したいと考えています。

#### ○会長

いずれにしても、幅広く情報収集することを心掛けてもらえるようお願いいたします。もう一つ、時間について、3時間は長いという説明がありましたが、多分、それぐらいは要ると思います。かつ、論点を絞ってやらないといけないので、そのあたりについても、また次回に議論できればと思います。他にはいかがですか。

#### ○委員

二つあります。一つは、先ほどの委員の意見につながることです。例えば、環境とは違う取組みもテーマに挙げる、あるいは、行政が関わっていない団体同士の取組みを把握するという話もありますが、それは、1年間に取り上げるテーマの件数に影響すると思います。10年間の計画で1年に一つしか取り上げないと、10年間で10個しかテーマにしないということになるので、言ってみれば、環境部の周りで拾っていけば完結しそうな気がします。

反対に、例えば、1年に三つずつ取り上げれば10年で30件になります。そうすると、1年間で三つの挙げる中には行政が主体となる取組みがあり、民の取組みもあるということで、多様な組み合わせで評価をしていけると思います。

逆に、事務局がリサーチをする必要があるのかなのかということ、裏を返せば、どのぐらいの数を取り上げるかによっても、そこは大きく影響すると思うので、例えば、今年は試行なので一つでもいいと思いますが、そのうち、どういう数を拾っていくかということに、一つポイントがあると思います。それが一つです。

もう一つは、今日の資料の後半に、「主な発表の視点」や「意見交換の主な想定」とありますが、これは、今回、ペーパーとして初めて見させてもらったと思います。環境基本計画の中に、「評価の視点」と書かれていて、いくつか例が挙がっています。その基本計画に書いてある評価の視点も、今回の発表をしているだけで読み取れるかということ、多分、読み取れない気がします。

委員の言ったシートの問題もそうですし、案外、市民団体側が行政を巻き込むときは、ある人がちょっと思い付いたアイデアから始まったとか、こういうところで行政に期待があって、こうすれば巻き込めると思ったとか、概略とは違うところにこのパートナーシップの本質があるように思いますが、そういったものは、ここではなかなか拾い上げられないと思います。

逆に、中心となるメンバーが、そういう思い付きが広がって展開しているなら、それを環

境への関心に広げたいと考えてくれることを期待して、そうやってすそ野を広げていこうという思いがあるのだと思いますが、ただ分析研究をするだけになってしまうと、せっかくのパートナーシップの評価がもったいないです。だからこそ、今回の質的な評価だと思うので、そこをうまく読み取れるような意見交換会にできたほうがいいと思います。それが二点目の意見です。

#### ○委員

初めて参加するので、ポイントが外れているかもしれませんが、資料3に「取組み状況や成功事例等を収集、検証することで…」と書いてあって、「豊中の環境審議会で評価する際の参考とします」と書いてあります。この下に書いてあるイメージを見ると、結局、各団体がいろいろな意見やアイデアを持ち寄り、それを審議会に報告し、それに対して提案をするわけですね。この提案は一方通行ですか。

また、テーマや数の問題を言っていました。基本的な方向性はどこで決めますか。私は初めてで分からないので教えてください。

#### ○事務局

審議会からの提案が一方通行かどうかということについては、先ほど委員から、前年度に参加した団体は次年度の報告会にも来てもらい、その後どうなったかという報告があってもいいのではないかという意見がありました。そういうふうに、翌年度の会にフィードバックの場を設けられたら、提案がどうなったかということ把握できると思います。その運営方法は今後の検討に入っていくと思います。

詳細な運用方法、テーマ設定については基本計画推進部会の中で少し検討した後、次回の審議会にお出しする形になると思います。

#### ○委員

では、基本計画推進部会で検討し、審議会にもっていくわけですね。

#### ○会長

先ほどから説明がありますが、協働の取組みについて、これまでは、何パーセント参加者が増えたなど、数字的なことしか把握できておらず、中身がどれぐらい進展したかが分かりませんでした。今は、取組みそのものが質的にどう変化しているかということ意見を意見交換会で把握しようということです。その結果をもって、次の基本計画推進部会、審議会で検討し、反映していくということです。

先ほどの、テーマをどれぐらい取り上げるのかというのは非常に悩ましい問題です。そもそも、想定されたテーマも、今年は取りあえずこれでやろうということになっても、全体像を見ないと後いくつあるのか分かりません。少し難しいかもしれませんが、できれば、次回、そのあたりの全体像のようなものを一度出してほしいと思います。

先ほど委員が言われたような、次年度に進捗を報告などという話になると、もっと回数が必要になってくるような感もします。

## ○委員

多分、一つのテーマに焦点を当ててやるのであれば、次年度には、事細かに事業がどう進展したかということより、協働の観点でどういうことが課題になっていて、どうしたらもっと進むのかといった意見交換をして、反映できたものがあつたかどうかということに焦点を当てて報告してもらおう形になります。あくまでも環境基本計画の進捗管理の中で、SDGsの協働取組みのように指標として数値がないものをどう測るかという取組みの一つです。

それを質的に見ていこうということで、質的にどう進んでいるか、あるいは、その評価自体をどうしていく方がいいのかということも含めて検討しようというのが意見交換会の趣旨なので、情報交流会そのものではありません。

また、先ほどの委員から、いくつできるかという話がありましたが、それは市の態勢にもよると思います。一つは、地球環境パートナーシッププラザのGEOCのほうでも協働取組の加速化事業というのをやってきて、「協働の種」のようないろいろなパンフレットを出しています。そこに、こういうところが重要だというものが出ていて事例集のようになっています。

意見交換会では活動団体概要だけではなく、先ほど、どうしてうまくいったのかという話が出ていましたが、そういうことについて聞きたい項目を共通化しておき記入してもらい、記入されたものをまとめてホームページに載せれば、それがそのまま豊中で進んでいる協働事業の事例集になりますし、あまり手間もかからず、皆で共有できるので、そういう取組みをしてもいいと思います。

そうでないと、発表するほうも、自分の活動を発表すればいいのか、何の話をすればいいのか分からないので、そこをやったほうがいいと思います。ただ、それを実行するにあたって、基本的にどんな形で詰めていくかということは、基本計画推進部会はもちろん、協働を実践してきた、あるいはコーディネートをしているNPOアジェンダともあらかじめ、よく情報交換をしていくことが重要だと思います。

今年の試行は、8月ぐらいに開催予定となります。私は、次の基本計画推進部会は出られません、検討はお願いしたいと思います。

## ○会長

ありがとうございます。委員、どうですか。

## ○委員

今日の審議会の前に、一度環境政策課と話す機会があり、そのときにも話しましたし、先ほどから出ている質問にも関連しますが、この意見交換会は誰が運営するのかということもはっきりしていないと思います。審議会の運営ではないという話は聞きましたが、豊中市が運営をするのか、NPOアジェンダ21と両方が運営をするのか、それによって誰がテーマを決めるのか、どういう運営をするのか、また、審議会委員はどう関わってくるかも変わってくると思います。この意見交換会を誰が運営するかということ、いつ、どこで、誰が決めるのかと問うたことがあります、正直、それによる気がします。

言われていることはそのとおりだし、NPOアジェンダもできる限り協力したいと思いますが、それをどう定めるかによって、必然的に関わり方が決まるところがあるというか、抽象的な言い方になりますが、大枠が決まってくると、その枠の中で議論がもう少し整理されていくと思います。枠が決まらないと、私自身の発言も抽象的というか、散漫になると思います。

もう一つ、委員の今の発言の一つ前の発言について質問します。例えば、意見交換の場で意見交換がされ、また次年度に確認するという話がありました。それは、単に1年たってどうかというニュアンスですか。それとも、活動している団体には自分たちの思いがありますが、学識者等の第三者がその活動の効果や側面を位置付けることによって、意見交換会の中でその団体に気付きがあり、その気付きがあったことを基に1年たって変わったことを追い掛けようと思っていますか。逆に言うと、1年後を追い掛ける以前に、意見交換や審議会でも評価した段階で、その団体にもう少し丁寧な対応をする必要があるとも思います。その辺が分かりませんでした。

**○会長**

委員、いかがでしょうか。

**○委員**

今の二つの違いがよく分かりませんでした。

**○委員**

意見交換でどこまでするのかよく分かっていません。ただ皆で意見を言い合って終わるのか、発表した参加者が、自分たちの活動にはこういう面もあったのかということをつえ直しできるところまでをイメージしているかです。

**○委員**

皆さんで意見交換をして決めたらいいと思いますが、個人的には後者です。皆さん、自主的にボランティアに活動されているので、それを評価する場では全然ありません。よりそれを進めていくときに、こういう意義があるとか、こういう見方もできるとか、こうしたらもっといいとか、むしろ、そちらに進めていくことが目的です。その意味で、単に環境分野だけでなく、他の分野のNPO活動をしている専門的な人にも声を掛けて、そこでノウハウ共有し、より進めていくというイメージを、個人的には持っています。来る人にメリットがないと思われるような意見交換会ならしないほうがいいと思います。

**○会長**

ありがとうございます。先ほど、委員から非常に重要な指摘がありました。意見交換会の運営主体をどう考えるかということですが、今、事務局はどういう見解ですか。

**○事務局**

いろいろ考えられると思いますが、次回の基本計画推進部会の中で検討したいと思いません。

## ○会長

では、次回に向けて、運営主体について委員の意見を先に聞いておくほうがいいと思いますが、どうですか。

## ○委員

先ほどの委員の意見にも関わるのかと思いますが、この交換会自体が、協働をしようというすそ野を広げるだけのものなのか、すでにやっている協働の質を上げようというものかによって目的が違ってくると思います。普通に活動している一般の市民団体は協働そのものが分かっていないので、協働の課題と言われても何をどう話していいか分からず、20分あっても、大体活動の紹介だけで終わります。

そこを、きちんと指標を出してあげて、例えば、協働の質を高めることが目的ならこういうことが必要だということをきちんと伝えるステージをつくらないと、私たちも目的に合ったものを聞くことはできません。そうではなく、出会いの場所をつくること、今協働していない人たちが、協働してこんなメリットがあったという話を聞くことで、それならあそこと組んでやろうとする最初のステップをつくる場であれば、どんどんいろんな人に来てもらえばいいです。

そのあたりが明確になっていないと、せっかく意見交換会をやってもいい結果が残らないと思います。その団体が後でどうなったかということフィードバックして質を評価するなら、もっと質に特化したものをやるべきだと思いました。

## ○会長

ありがとうございました。他はどうですか。

## ○委員

今年は試行なので、その意味では全部がクリアになっていないと思います。基本的なことと言うと、それぞれのどこかの団体の質を上げるということではなく、協働で取り組んでいること自体がもっとうまく機能するようになるところにポイントがあると思います。

今の発言で非常に重要なことがありました。基本的に、協働のノウハウとしていろいろなものが出ていて、それ自体を知っているか知らないかでは違います。確かに、参加する人に事前に何か共有できるとさらに丁寧だと思いますが、それはどこまでできるかによります。少なくとも、話してほしい項目としては、まさに、GEOCがやっている「協働の種」に即したもので、ここはどうなっているかという具体的な項目を挙げることはすごく重要だと思います。そもそも、それがなぜ挙がっているかということと一緒に認識できないと難しいかもしれません。

ただ、豊中市がやることで全国規模ではないので、多分、今まで活動している人は、ある程度相互に顔が見えていると思います。やる場合は、審議会は市の附属機関なので、意見交換は行政が評価する、あるいは市民が評価するという一方通行ではないので、両方で運営できるような形のものにしてもらえるとありがたいと思います。

**○会長**

今の意見の確認ですが、運営主体は行政だけでなく、活動している市民も一緒に入って運営主体を構築したらいいという意見ですね。

**○委員**

そうです。少なくとも中間支援は入らないと。

**○会長**

関連して何かありませんか。中間支援となると、NPOアジェンダ等の組織も入って検討するわけですね。

**○委員**

選択肢としては、「とよなか市民環境会議」という140ぐらいの構成団体に組織する市長が会長の組織があり、そこが「豊中アジェンダ21」というのを策定しています。例えば、二つのうちのの一つか、三つ以上のうちのの一つなのか分かりませんが、そこが入るなら、この策定に関してはNPOアジェンダが協力した側面があるので、そういう位置付けがあるなら、NPOアジェンダもこの意見交換会に、ただ当日に出る以外にも手伝えるのかと思います。

もしそういう位置付けがされるなら、先ほど言われたように、車の両輪の両方で環境目標も共有しているので、その基本計画ではないもう一方側も関わった形での評価が進められるというか、両方が関わって、この五つの目標のうちの一つを進めていこうという位置付けになると思います。もしかしたら、運用上はそれぞれにメリット、デメリットがあるかもしれませんが、そういったことは考えられると思います。

**○会長**

関連のある意見があればお願いします。今、運営主体についていろいろ意見が出たので、そういうことも少し検討に含めてもらえたらと思います。意見交換会に関して、何か意見等ありませんか。

評価の視点については、基本計画に評価の視点を幾つか挙げています。それが、それぞれの関係性をうまく捉えられるものになっているかどうか、やや分かりづらいという話がありましたので、このあたりにも配慮願えたらと思います。これに対して意見があればお願いします。いいですか。

今日はたくさん意見が出たので、次回の審議会まであまり時間がありませんが、事務局で検討をよろしくお願いします。

**5. その他について**

**○会長**

続きまして、案件5の「その他」について、事務局から説明をお願いします。

**○事務局**

(第1回環境基本計画推進部会、第2回環境審議会の開催日時のお知らせ)

○会長

ただいまの説明に関し、ご意見、ご質問はありませんか。

それでは、以上をもちまして本日予定の案件は終わりました。進行を事務局にお返しします。

○閉会

以上